

石桜まつり



10月24日(土)「みんなで力を合わせて心をひとつに」のテーマのもと、石桜まつりが行われました。

オープニングは、JSJ(児童生徒実行委員会)が中心となって校内放送で行いました。その後、各学部に分かれて、発表や作業製品販売が行われました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年とは異なり参観の方の人数制限等を行いましたが、子ども達は普段の学習の成果をしっかりと出し切り、とても満足そうな表情をしていました。

石桜まつり（小学部）



小学部では、日ごろ学習していることをもとに、3グループに分かれて体育館で発表を行いました。音楽、体育の学習などを家族の方の前でしっかり発表することができました。家族の方に見て頂いたことで、普段以上に生き生きと発表する子どもたちの様子が見られました。子どもたちも「良くできた。」「練習の成果を出せた。」とうれしそうでした。

石桜まつり（中学部）



中学部では、ステージ発表と作業製品販売を行いました。

ステージ発表では、『石桜 NiZi プロジェクト』と題し、世界に羽ばたくアイドルを目指し、体育で学習した器械運動や音楽で学習した和太鼓のリズム打ちを披露しました。

作業製品販売では、作業学習で製作したカレンダーや今年から新しく制作した郵便はがきを販売しました。生徒たちの元気な挨拶に家族の方も嬉しそうでした。生徒たちは、一人一人が自分の役割を果たし、「がんばった。」と満足そうな様子でした。

石桜まつり（高等部）



高等部の木工班、窯業班、縫製手工芸班、農業加工班では、職業の学習で製作した製品の販売を行いました。また、産業サービス班では「石桜カフェ」を開き、お客さんをもてなしました。

例年とは異なり人数制限を行っての販売となりましたが、生徒達の心を込めた製品やサービスに会場には笑顔が溢れました。生徒達は一人一人の役割をしっかりと果たし、販売を行うことができました。終了後、生徒達も、「楽しかった。」「お客さんが来てうれしかった。」と話していました。